

# 家庭学習の手引き

○進んで学ぶ力を育てましょう。

○学習できる環境作りを大切にしましょう。

〈子どもの基本的な生活習慣を整えましょう〉

朝食と十分な睡眠は必ずとらせたいものです。脳も体も元気になります。

早寝・早起き・朝ごはんを心がけましょう。

〈学習環境を整えましょう〉

決まった場所、時間に学習する習慣をつけましょう。

学習する場所を整理整頓してからはじめるようにしましょう。

姿勢を保てるようにしましょう。

テレビを消して学習するようにしましょう。

時間のめやす	低学年	20分以上
	中学年	40分以上
	高学年	60分以上

学校の課題が終わった後、自分にあった学習を工夫してやりましょう。

## 家庭学習のねらい

- ① 学ぶ意欲を高めます。
- ② 間違った問題をやり直し復習することで、学習内容の定着を図ります。
- ③ これから学習することを予習することで、授業での理解が進みます。
- ④ 自ら学ぼうとする態度を養い、生涯にわたって学ぶ力をつけることができます。
- ⑤ 決められたことに、継続して取り組む根気強さを育てます。
- ⑥ 子どもと保護者の方が学校や学習についての話をする場になります。

進んで学ぶ力は、子どもたちが生涯にわたって自分の人生を豊かに生きていくために必要な力です。

進んで学ぶ力がつくよ



～関わり方のポイント！～



## 自ら学ぶ高学年(5・6年生)

少しずつ自我が目覚め、周囲に対して自分の考えを主張するようになってきます。その一方で、社会性が広がり、感受性が深まり始めるのもこの時期です。友達の言動や大人の対応には敏感で、特に自分が納得できないことや不平等な扱いに対しては反発したり、傷ついたりすることがよくあります。大人になるために、自立していこうとする時期です。家庭学習では、興味関心を持ったことに対して、深めることで、幅広い力がついていきます。中学校に向けて自分で計画を立て、見通しを持って学習する力をつけることが大切です。他の子との比較ではなく、がんばりを認めること「やればできる」と、ねばり強く励ますことなどが大切です。心の成長や深まりが見え始めるこの時期だからこそ、家族の温かな見守りが必要です。

(目標)

- \* 学習の計画を自ら立て取り組む。
- \* 身の周りの興味関心を持ったことについて、調べ深める。
- \* 得意分野、苦手分野に気づき、学習する範囲を選択する。

## 根気よく学ぶ中学年(3・4年生)

自立心が芽生えてくるとともに、自分でやろうとすることが多くなり、「やる気」や「根気」が育つ時期です。語彙(言葉)の獲得能力が高くなり、抽象的な思考ができるようになっていわれています。「急に勉強が難しくなった」という戸惑いや苦手意識を持つ子どもも出てきます。自信を持たせたり意欲をふくらませたりするような励ましが大切です。

(目標)

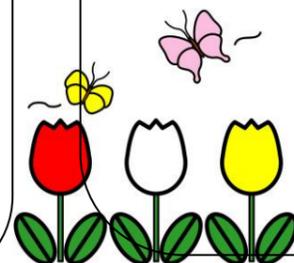
- \* 学習意欲を高める。自分で調べる学習を入れることで、自学自習の基礎をつける。
- \* 苦手意識が出た時、繰り返し取り組む。

## 習慣づけの低学年(1・2年生)

「早寝早起き」「規則正しい食事」「朝の排便」など基本的な生活習慣を身に付けることが学習習慣の定着に欠かせません。学校での学習を受け学習内容や方法を子どもと決めましょう。出来たことをほめることによって興味・関心を引き出し、意欲を高めることができます。

(目標)

- \* 基本的な学習習慣を身に付ける。
- \* 正しい姿勢で座る。
- \* 鉛筆を正しく持つ。
- \* 明日の授業の準備をする。
- \* 学校での学習を受け、繰り返し練習すること。



自主勉強ノート「学ちゃん」を活用し、自ら学ぶ力を育てていく